

令和6年度 大学塾 第1ステージ 開催案内

日本経済入門 2025 ~半導体・教育・財政~

日本経済の個別政策のうち、長期低迷が続いた半導体産業によく復活の兆しが現れる一方、国力を支える教育は人口減少と経済低迷の下、教育費や学力等の課題に直面している。他方、コロナ対策で拡大した日本の財政に対しては、景気回復に向けた拡大への期待と健全性への危惧の両論が戦わされている。

こうした状況を踏まえ、講座では、①半導体産業の過去・現在と課題、②人口減少下の教育の課題、③日本の財政の特殊性と課題について3回にわたり、内外の最新のデータや図表を用いて分かり易く説明します。



毎回 土曜日 午後2時～時

講 師：柴田 寛 氏 元農林水産省 課長職 農業白書及び国民生活白書の執筆に携わる。

日 時：4月5・12・19日（土曜日）全3回 午後2時～4時

会 場：足立区生涯学習センター（学びピア21内）5階 研修室1

講義内容：第1回 半導体産業の過去・現在と課題を考える

日本の半導体産業が長い低迷期を脱しつつあることを踏まえ、その過去・現在と課題について最新の図表を用いて分かり易く考える。

第2回 人口減少下の教育の課題を考える

人口減少と景気低迷の中、現在の教育が直面する教育費、学力等の様々な課題について最新の図表を用いて分かり易く考える。

第3回 日本の財政の特殊性と課題を考える

現在の日本財政が直面する積極論と健全論の戦いや、日本の財政の特殊性について最新の図表を用いて分かり易く考える。



荒川放水路通水 100周年記念 事業報告

・・・あらかわ学会年次大会 2024・講演論文集に掲載・・・

令和6年8月に開催した、あだち区民大学塾事業荒川放水路通水100周年記念講演会、シンポジウム、船上セミナー（見学会）の事業報告を、あらかわ学会年次大会2024の講演論文集に寄稿。令和7年2月9日に、綾瀬ブルミ工にて開催された、あらかわ学会年次大会2024講演論文集（90～93頁）に掲載されました。

論文集は文献登録され、公文書として国立国会図書館ほかに、寄贈・保管されます。



以前、私は27年間東南アジアで仕事をしていました。私が提出する報告書や企画書にはカタカナ部分は必ずアルファベットを要求していました。例えばコンセプトには Concept を添えます。それほど日本語のカタカナは意味が伝わりにくいのです。公式の場では通訳を通してましたが、かなり日本語が達者な通訳でも皆「カタカナは難しい」と言っていました。

海外で「マンション」は普通「アパートメントかフラット」と言います。本来の「マンション」は丘の上の広壯なお屋敷(豪邸)のことです。ですから日本式に「私の家は 20 坪のマンションです」なんて言うと「やっぱり日本の家はウサギ小屋だ」と陰で笑われたのです。「パソコン」は PC、ノートパソコンは Laptop PC、「ホームページ」は Web site または Internet、「ロス」は LA(ロサンジェルス)、「コロナ」は COVIC19 で「」内のカタカナ語は全く通じません。

何故なのでしょうか？先ず ①外国語をカタカナに表記する時、正確な発音から外れる。②そのカタカナを日本式に読むのでもっと通じない。もちろん ③言葉の概念自体が相違していて通じない、更に ④日本で魔改造(変化)したもの ⑤カタカナの一部を省略した単語(インフルエンザ⇒インフル)があって、カタカナ語はルール無しの滅茶苦茶状態なのです。

従ってカタカナ語は基本的に外国では通じないとと思うべきです。

日本人は活発に外来文化を取り込みますが言葉の管理をしていません。マスコミが悪い・NHK が怠慢だ・文科省は何をやってるんだ、などと憤慨する人もいます。でも現実には通じないです。

以下、生活に関する“カタカナ語”を並べました。

旅行で通じない英語もどきのカタカナ語

- 【01】フロント ⇒ Reception (レセプション) 通じるホテルもある
- 【02】モーニングコール ⇒ Wakeup call (ウェイクアップ コール) 通じるホテルもある

食べ物関連のカタカナ語

- 【01】レンジ ⇒ Microwave (マイクロウェーブ)
- 【02】フライドポテト ⇒ French fries (フレンチフライズ) 米
- 【03】ペットボトル ⇒ Plastic bottle (プラスティック ボトル)
- 【04】レトルト ⇒ Retort-packed (リトート パック)
- 【05】いくら ⇒ Salmon roe(サーモン ロウ)

ファッション関連に使われるカタカナ英語

- 【01】ピアス ⇒ Earrings (イヤリングス)
- 【02】チャック ⇒ Zipper (ジッパー) チャックは日本のメーカーの商標名
- 【03】キーホルダー ⇒ Key chain (キー チェイン)、key ring (キー リング)
- 【04】ワンピース ⇒ Dress (ドレス)・ワンピース (Onepiece) はつなぎ服全般を指す
- 【05】マニキュア ⇒ Nail polish (ネイルポリッシュ)
- 【06】ズボン ⇒ Pants (パンツ)・ズボンはフランス語の「ジュポン」が由来
- 【07】ランドセル ⇒ School bag(スクール バッグ)・オランダ語のランセルが訛って
- 【08】リュックサック ⇒ Backpack(バックパック)・リュックサックはドイツ語が由来
- 【09】Gパン→ ⇒ Jeans (ジーンズ)

家・不動産関連のカタカナ語

- 【01】ホームパーティー ⇒ House party (ハウスパーティー)
- 【02】コンセント ⇒ (米) Outlet (アウトレット)、(英) socket (ソケット)
- 【03】エアコン ⇒ Air conditioner(エアコンディショナー)・日本語特有の略語

買い物関連のカタカナ英語

- 【01】ガソリンスタンド ⇒ (米) Gas station (ガス) (英) Petrol station (ペトロール)
- 【02】オーダーメイド ⇒ Made-to-order (メイド トゥ オーダー)
- 【03】ダンボール ⇒ Cardboard (カードボード)・ダンボール箱は、Cardboard box
- 【04】スーパー ⇒ Supermarket、Grocery store (グローサリー ストア)
- 【05】コンビニ ⇒ Convenience store
- 【06】レジ ⇒ Cash register (キャッシュ レジスター)
- 【07】輪ゴム ⇒ Rubber band (ラバーバンド)
- 【08】ベビーカー ⇒ Baby carriage、stroller (ベビーカーレッジ、ストーラー)

その他のカタカナ語

- 【01】カンニング ⇒ Cheating (チーティング)・英語で“Cunning”はずるさ、悪知恵等
- 【02】ウォーミングアップ ⇒ Warm-up (ウォームアップ)
- 【03】アクセル ⇒ Accelerator (アクセラレーター)
- 【04】イメージアップ ⇒ Improve one's image/polish one's image
イメージダウン ⇒ Damage one's image.
- 【05】ナイーブ ⇒ Sensitive (センシティブ)・ナイーブ (naive=「世間知らずな・純朴な」)
- 【06】アンケート ⇒ Questionnaire (クエッショナリ)・アンケートはフランス語が由来
- 【07】デマ ⇒ False rumor (フォルスルーム)・デマは扇動を意味するドイツ語の略
- 【08】テーマ ⇒ Theme (シーム) *

*以下別稿 『生活編-2・和製英語編』に続く。

(広報 G/HP 担当 神戸 明)

令和7年2月 運営委員会 報告・連絡

日 時：令和7年2月3日（月）15:00～
場 所：生涯学習センター：5階 研修室4

代表挨拶

皆さまご苦労様です。2月に入り寒い日続いて居ります。インフルエンザが全国的に猛威を振るっています。ワクチンを接種することで感染予防につながり、罹患（りかん）しても重症化しにくくなると言われています。くれぐれも感染しない様、予防に努めて頂ければと思います。

1月の「特別講演会 薦谷重三郎」は、皆さまのご協力を頂き大変盛況で無事終了いたしました。当日は、元会員の方たちにも応援を頂き改めて御礼申し上げます。2月は、2月15日より3回講座で「日本史の謎」が開講いたします。スタッフへのご協力をよろしくお願ひいたします。

議 事

（1）情報交換

荒川放水路通水100周年記念講演会、シンポジウム、船上セミナーを昨年8月に開催したが、今般講演会報告をあらかわ学会年次大会2024（2月3日プレミエで開催）に寄稿した。寄稿文は論文として採用され、あらかわ学会年次大会2024講演論文集に掲載されます。論文集は文献登録され、公文書として国立国会図書館ほかに、寄贈・保管されます。

（2）月例会開催について

- ・1月 15日（水）「新入会員の紹介」
- ・2月 17日（月）情報交換会
- ・3月 お花見の予定 候補 尾久の原公園、3月23～25日

（3）あだち区民大学塾：講座企画会議：2/3（月）、3/3（月）、検討会議：2/17（月）、3/17（月）

- ・1月 薦谷重三郎 大河ドラマの主人公の実像にせまる 1/14（休・月）講堂
応募者 142名、受講者 129名
- ・2月 今さら誰にも聞けない「日本史の謎」2/15、22、3/1（土）研1
応募締切日 2/3（月）応募者は67名（2/3現在）
- ・3月 講座なし
- ・令和7年度前期 大学塾講座検討中、前期講座の研修室予約依頼中、会議の研修室予約済
 - ・4月 日本経済入門 2025 4/5、12、19（土）研1 区報原稿提出済
 - ・5月 千住宿開宿400年記念講座「千住宿400年の人と歴史」
5/8、15、22、29（木）研1、現地学習 講座企画書、チラシ承認、区報原稿提出済
 - ・6月 中世古文書 中世人の昇進・裁判 6/8、15、22（日）研1 企画書承認

（4）各部局からの報告および提案

- ①学習支援部：2/17（月）4月講座「日本経済入門2025」の交換便へチラシ封入作業
- ②ボランティア活動推進部：お花見を検討する、3/1運営委員会に概要を提案する
- ③事務局：ニュース発送2/3（月）、事務局会2/12（水）1月決算
- ④広報グループ：楽学ニュース314号発行 ホームページ2/1発信、メルマガ215号発行

（5）会員募集

- ・メルマガ 9月1日号以降会員急募を掲載中、ホームページに「入会のお誘い」掲載中
- ・足立朝日に告知した（9月5日号）
- ・あだちサークルフェアで勧誘、NPOフェスティバルで勧誘した→ サークルフェアで2名入会頂いた
- ・大学塾講座で会員募集案内を実施中

（6）その他

- ・社会教育2月号 回覧 事務局（WR保管）

次回運営委員会 3月3日（月） 15:00から（研4）



特別講演会 NHK 大河ドラマ「薦谷重三郎」

◎講座名：文学散策①

夏目漱石と漱石山房に集まつた人々

あだち 100 年大学講座

日 時：4/6 (日)・20 (日) 午前 10 時～正午
定 員：30 人 (事前申込先着順)

受講料：1,250 円 (入館料含む、障がい者手帳、ぐるっとバスお持ちの方入館料無料)

会 場：6 日 足立区生涯学習センター 研修室 1
20 日 新宿区立漱石山房記念館

(新宿区早稲田南町 7)

講 師：栗原 悠 氏 (国文学研究資料館)
新宿区立漱石山房記念館 解説員

内 容：夏目漱石という小説家は、ひとり孤独に机と向き合い原稿を書いていたわけではない。漱石山房と呼ばれる彼の自宅には、日夜さまざまな文学学者、文化人が集まっていた。今回はそうしたサロンとしての漱石山房、そしてそこに集まつた人々との関係を見ていただきたい。

◎講座名：アルツハイマー病研究の第一人者 岩坪 威が語る 新しい治療法

あだち 100 年大学講座

日 時：4/26 (土) 午後 1 時 30 分～3 時
定 員：50 人 (対面)、10 人 (オンライン)

受講料：800 円

会 場：足立区生涯学習センター 研修室 1

講 師：岩坪 威 (たけし) 氏

(国立精神・神経医療研究センター所長)

内 容：アルツハイマー病に挑み続けた研究者が辿り着いた今話題の新たな治療法・レカネマブなどの新薬と今後の展望について学びます。

お申込みは：電話(03-5813-3730) 又は直接窓口
インターネット [近所 de まなびナビ] で検索
イベント・講座情報→講座予約システム

※感染症拡大予防のため講座の中止、延期の場合もございます。予めご了承ください。



足立区 大谷田公園 梅園 (四阿・富士牡丹枝垂れ・紅千鳥)

月例会のご案内 (お花見)

令和7年3月「月例会」のご案内

日 時：3月 25 日 (火) 午前 11 時～

集合場所：北千住マルイ前 (バス 3 番乗場)

場 所：尾久の原公園 お花見・枝垂れ桜

皆様の積極的な参加をお願いいたします。

(ボランティア活動推進部)

◎運営委員会

3 月 3 日 (月) 午後 3 時～4 時 研修室 4

◎月例会

3 月 25 日 (火) 午前 11 時～ 尾久の原公園

◎学習支援部

3 月 17 日 (月) 午後 1 時半～2 時 研修室 4

◎ボランティア活動推進部

3 月 25 日 (火) 午前 11 時 (尾久の原公園)

◎事務局

3 月 12 日 (水) 1 時～2 時 ワークルーム

3 月 24 日 (月) 1 時半～3 時 ワークルーム

◎広報グループ

メール会議

◎大学塾講座検討会議

3 月 17 日 (月) 午後 2 時～3 時 研修室 4

◎大学塾講座企画会議

3 月 3 日 (月) 午後 2 時～3 時 研修室 4

◎生涯学習センター 休館日

3 月 10 日 (月)

★お問い合わせ & ご意見

◎「楽学の会」の運営に関するお問合せ

事務局 福田哲郎 電話: 090-3207-8444

E-Mail: tefukuda2002@yahoo.co.jp

編集後記

脱炭素化社会に向けて GX 推進法 日本の取り組み

脱炭素社会を実現させるため、世界各国で取り組まれている「カーボンプライシング」、日本では、通称 GX 推進法 (グリーントランクスフォーメーション推進法)、脱炭素成長型経済構造への円滑な移行の推進に関する法律で、企業に対し再エネの利用拡大や脱炭素技術への投資を促進するため、2023 年 6 月に施行された。2024 年度には、企業がカーボンニュートラル目標に向けて実質ゼロエミッションを目指すための技術導入や補助金制度が拡充されました。GX 推進法のポイントと、2024 年の新たな取組みは下記の通りです。① 「カーボンプライシング」の導入、企業などの排出する CO₂ (カーボン、炭素) に価格をつけ、それによって排出者の行動を変化させるために導入する政策手法制度 (企業などが化石燃料や電気を使用して排出した CO₂ に対して課税する「炭素税」・取引制度に参加する企業ごとに排出量の上限を決め、それを超過する企業と下回る企業との間で「排出量」を権利として CO₂ の排出量を売買する「排出量取引制度」) や CO₂ の削減を「価値」と見なしして証書化し、売買取引をおこなう「クレジット取引」、ほかにも「石油石炭税」などエネルギーにかけられる諸税、法律による規制などもカーボンプライシングに含まれます。政府主導のしくみ以外にも、企業が自社の CO₂ 排出を抑えるために、炭素に対して独自に価格付けをし、投資判断などに活用する「インターナル (企業内)・カーボンプライシング」などの方法があります。② GX 経済移行債を活用した先行投資支援国は「GX 経済移行債」を発行し、約 20 兆円規模の補助金を事前に用意して企業を支援しています。③ GX 推進機構の立ち上げ、カーボンプライシングも財源にしながら、新技術への投資や、企業の脱炭素プロジェクトを支援する体制を整え民間投資の活性化を通じて長期的な低炭素成長を目指しています。

(金子 勝治)